

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者 / 編 集 者	出 版
地方財政・議会		
自治体財政Q&Aなんでも質問室	松木 茂弘	学陽書房
國會議員要覧 令和六年二月版	中島 孝司	国政情報センター
國曾要覧 第七十七版	中島 孝司	国政情報センター
教 育		
有機給食スタートブック 考え方・全国の事例・Q&A	靄理恵子・谷口吉光	農山漁村文化協会
子どもと教師のウェルビーイングを実現する カリキュラム・マネジメント	田村知子・村川雅弘 吉富芳正・西岡加名恵	ぎょうせい
観 光		
世界中から人が押し寄せる小さな村 新時代の観光の哲学	島村菜津	光文社
地方自治・地方行政		
<実践>自治体まちづくり学 まちづくり人材の育成を目指して	上山肇(編著) 河上俊郎・伴宣久(著)	公人の友社
その他		
未婚と少子化 この国で子どもを産みにくい理由	筒井淳也	PHP新書
DX時代の広域連携 スマートリージョンをめざして	大西隆・戸田敏行(編著) 小野悠・幾度明(著)ほか	学芸出版社
公民連携白書 PPPの人材育成2023~2024	東洋大学PPP研究センター	時事通信社



お茶のおはなし



「夏も近づくと八十八夜・・・」と昔、ロブさんに記憶はありませんか？

この歌は茶摘の歌で立春から数えて88日目にあたる5月2日を意味し、新茶を摘みます。

昔は桜前線と同じく南から北へと北上してお茶も採れたのですが、気候変動で今は静岡のお茶の方が先に入荷したり様々な動きがあるようです。

私は年をとった時に、毎日美味しいお茶を入れてゆっくりお茶の時間を楽しめる様になりたいなあ・・・と思い、お茶について少し勉強してみました。そのお話を少しさせていただきますと思います。

まずは、お茶の由来ですが、お茶は平安時代に中国から薬として伝わったとされています。

庶民はそれまで水や白湯を飲んでいました。高貴な方しかお茶を飲む事が出来ず、死んだ時くらいはお茶を・・・という事で今でもお供え物にはお茶が使われる事が多いとされています。それくらいお茶というものは貴重でした。ところで皆さんは、どこの産地のどの味のお茶がお好みですか？

- 静岡茶(静岡県産) しっかりと濃いめのお茶
- 宇治茶(京都府産) 上品なまろやかな味のお茶
- 知覧茶(鹿児島県産) 甘味も渋みも丁度良いお茶
- 八女茶(福岡県産) 玉露にも使われる事の多い甘めの優しいお茶
- 嬉野茶(佐賀県産) 茶葉がねじれているのが特徴で
ぐり茶とも呼ばれるしっかりと渋みもあるお茶



その他、日本には多くのお茶の種類があります。

私が個人的に好きなお茶は知覧茶です。

知覧という地は昔、特攻隊が飛び立った悲しい歴史があります。しかし現在では静岡と並ぶお茶の産地となりました。そのため、茶畑を見ると平和を感じる事が出来ます。緑色で美しいお茶ですので一度飲んでみて下さい。

ところでお茶は、入れると緑に出るお茶、黄色に出るお茶がありますよね。この色の違いは分かりますか？ 緑色は、蒸している為、緑色になります。1分間多い目に蒸すと、深蒸し茶と言います。(蒸す事により茶葉は、壊れて細くなり、急須に入れても早く色目が出ます。)

黄色は、蒸した後に炒っているのが黄色の色が付き香ばしくなります。今、自分がどんな工程のお茶を飲んでいるのか？ 出された時、色も楽しんで下さい。

和歌山には、ほうじ茶文化がありますよね。

他府県では白米で粥を作りますが、和歌山県は、ほうじ茶で炊く事が多いようです。ほうじ茶は煎茶を炒るとほうじ茶になります。私は家でもほうじ茶を作る事が出来ます。フライパンにクッキングシートを敷いて弱火で炒ると美味しいほうじ茶が出来ます。麦茶より日持ちもするんですよ。お茶は茶香炉でアロマとして楽しむ事も出来ます。みなさんもお茶を楽しんで下さいね。